

団体の紹介

- 名称 白鷹ふる里体験塾
- 代表者 奥山 和司
- 所在地 山形県西置賜郡白鷹町大字下山
- 会員数 16名
- 団体設立の趣旨

白鷹ふる里体験塾は、子どもたちに様々な体験型の学習プログラムを提供することを目的に、平成13年に発足した団体。地元の「ふる里子ども交流館」を拠点に、周辺の里山の整備を図るなど様々実施した。現在も、地元の自然や伝統を継承し、次世代に引き継ぐための活動や、様々な体験を通じて健全な子どもの生活習慣を育てる活動を展開している。

- 取材対応者 奥山 和司（代表）
- 主な活動実績
 - 平成15・16年 「あそ文化」（生涯学習文化財団）で昔の遊びコーナーを担当
 - 平成16年 「ワクワク体験農園」（東北電力補助事業）開催
 - 平成17年 「やまがた子ども体験塾サミット」（トヨタ財団補助事業）開催
 - 平成18年 「農業体験による地域・世代間交流事業」（庄内銀行ふるさと創造基金）開催
- 連絡先
 - 〒990 - 2313 山形市松原 1443 - 2（169 - 4）
 - TEL 023-688-8515
 - FAX 023-688-8515

今回取材した活動の内容

- イベント・事業の名称 自然体験活動
- 開催日 平成19年11月23日(木) AM10:00~
- 事業のねらい
地域の豊かな自然や伝統文化を次世代に継承するために、地元の里山などで自然体験や農業体験活動を、四季を通じて活動している。
- 活動の内容
この日の活動内容は、里山体験、森林の学習、きのこ植菌、大根の収穫。年間を通して活動しているため、四季の変化を感じることができる。

1. 里山体験

午前中は、里山を散策した。自分たちが不思議に思うことを講師の方に質問しながら、散策した。

<動画>

(1) 足跡

散策していると、動物の足跡を見つけた。足跡から動物の大きさや足の長さもわかる。リスが移動しているときに雪の上に残っていたしっぽも発見した。



(2) 巣箱

夏に作って設置した巣箱の中に、動物の利用した跡があり、とても喜んでいました。

自分たちのすぐ側に、動物がいるということを実感した。



(3) 土の中を調査

地面を5立方センチメートルくらい掘り、土の固さを測った。割り箸で土を刺してみると、森の中の土は柔らかいことがわかった。それは、何重もの層になっており、落ち葉などが何十年の間、蓄積してできるからだと言われた。



(4) 木の伐採

木の伐採を見て、自然破壊と考え子供たちは木が切られることをかわいそうと感じていた。しかし、木を切らなければ、光が当たらなくなり、育たなくなると聞き、新たな知識を得ていた。



● 森林の学習

世界の木の説明を受けた。木が種をまく方法はいろいろな種類があり、飛んでいくように、種を運ぶという木の葉があるということを聞き、子供たちは驚いていた。



● きのこ植菌

午前中に伐採した木に、機械で穴を作り、なめこの菌を打った。一本やると楽しくて止まらず何本も何本もやっていた。再来年の春には食べられるそうだ。



● 大根の収穫

雪が積もっていたので、雪を掘ってから大根を収穫しました。自分の手で食物の収穫できたことで「収穫する喜び」を得たと思います。収穫した大根は、各自、家庭に持ち帰りました。



● 感想

(参加者)

- ・新しい発見があった。
- ・自然と触れ合えて、楽しかった。
- ・もっと里山のことを知りたくなった。

(スタッフ)

- ・子どもたちがたくさんの事に興味を持ってくれて、嬉しかった。
- ・これからも、たくさんのことを発見してほしい。観察力を身につけてほしい。

取材者プロフィール



氏名 金田 智香 (かねだ ちか)

所属 山形県立米沢女子短期大学 社会情報学科 1年

● 取材活動の感想

私は取材をして、子どもたちが自然と触れ合って、自然について興味を持ち、学んでいる姿が印象的でした。この活動は、大人（親世代）が子どもたちに豊かな自然を伝えていくものです。私自身も、緑に囲まれ美しい自然の中で育ってきました。しかし、実際に森の中に行くことがあっても、知らないことがほとんどでした。ほんの少し違う視点からみると、森の中はとても不思議な世界でした。私は身近にあった森林のことを知らずにいたことに気づかされました。もし、この活動のようなものがなかったら、里山のことを知らない人ばかりになってしまうのではないかと思いました。昔から、人々の生活に結びついていた山、森林は将来どうなるのでしょうか。伝える人がいなければ山、森林のことを知る人がいなくなりなります。人でつくられた森林は、人の手で適切に管理しないと維持できません。草を刈らないと苗木は、育たないし、間伐しないと木は太りません。光が林内に入らず下草も生えなくなります。山にいる動物や植物がわからなくなります。このようなことになるのを防ぐためにも、知識・関心を持つ必要があります。美しい自然を守るために、次世代に伝えていくことが一番大事なことだと感じました。

この活動の取材をし、子供たちが自然と触れ合い、とても楽しそうに体験している姿を見て、森林のことがわかる子供たちがいることで、この美しい自然は守られていくのだと思いました。そして、この活動で学んだ子供たちが、親になったときに、自分の子供たちに伝えてほしいと思いました。